

# 高専発！「Society5.0型未来技術人財」育成事業



## ②COMPASS5.0 次世代基盤技術教育のカリキュラム化と深化（連携・トップ人材）

**背景**

○教育未来創造会議では未来を支える人材像を“好きなことを追究して高い専門性や技術力を身に付け、自分自身で課題を設定して、考えを深く掘り下げ、多様な人とコミュニケーションをとりながら、**新たな価値やビジョンを創造し、社会課題の解決を図っていくことのできる人材**”として整理されている。

○リテラシー（数理的推論・データ分析力、論理的文章表現力、語学力・コミュニケーション能力等）、論理的思考力と規範的判断力、課題発見・解決能力、未来社会を構想・設計する力、高度専門職に必要な知識・能力を培うことが求められ、**産学官が目指すべき人材育成の大きな絵姿の提示が必要**である。

**経過と課題**

<カリキュラム化・高度化> 次世代基盤技術のカリキュラム開発として、DX・GXに繋がる産業界と連携しながらカリキュラム化（ボリューム人材育成強化）を進めてきている。同時に、未来技術の**社会実装教育の高度化に繋がる研究活動を通じてトップ人材育成**を行っている。

<課題>

①DX・GX分野の基盤技術の一つに通じるだけでなく、それらが横断的に繋がっていることを経験した人材が求められている。⇒**分野横断型教育の強化**

②継続的に**産学官連携による人材育成**に向けて、産と学それぞれの強みをより深く相互理解し、**全国に偏在する産業も踏まえ、全国規模と地域規模での活動**を相互に繋がりながら、**似通った地域ごとの人材育成の課題・好事例を集約・共有しながら効率的に進めていく必要がある**。⇒**産学連携の強化**

③**トップ人材育成**において、**単独の高専と企業だけでは難しく、教育・研究のシナジー効果を更に高める必要がある**。⇒**各種リソースの集中化**

**事業概要**

<これまで>（R2年度からR7年度）

- GX/DXに相当する次世代基盤技術教育のカリキュラム化
  - 半導体、蓄電池（バッテリー）、エネルギー（風力）
  - DXに関するカリキュラムのブラッシュアップ
  - DXとGXの専門教育を統合した学び（深化）の実践
- 継続的に産学官連携で人材育成をするために、**全国規模と地方規模が組み合わさった産学官の連携体制の構築**

<今後>（R8年度以降）

- DX/GXの教育実践と産学連携の体制強化**  
GXに相当する半導体・蓄電池・エネルギーを強力に推し進めつつ、同時に**分野横断型教育を強化**へ
- 産学連携による研究活動を通じたトップ人材育成強化**  
これまで取組んできた様々な産学連携の教育・研究の各種リソースの集中化（ヒト、環境等を特定の高専に集中）、イノベーション創出に繋がる**トップ人材育成の推進**

